

令和8年7月の労働市場の動き

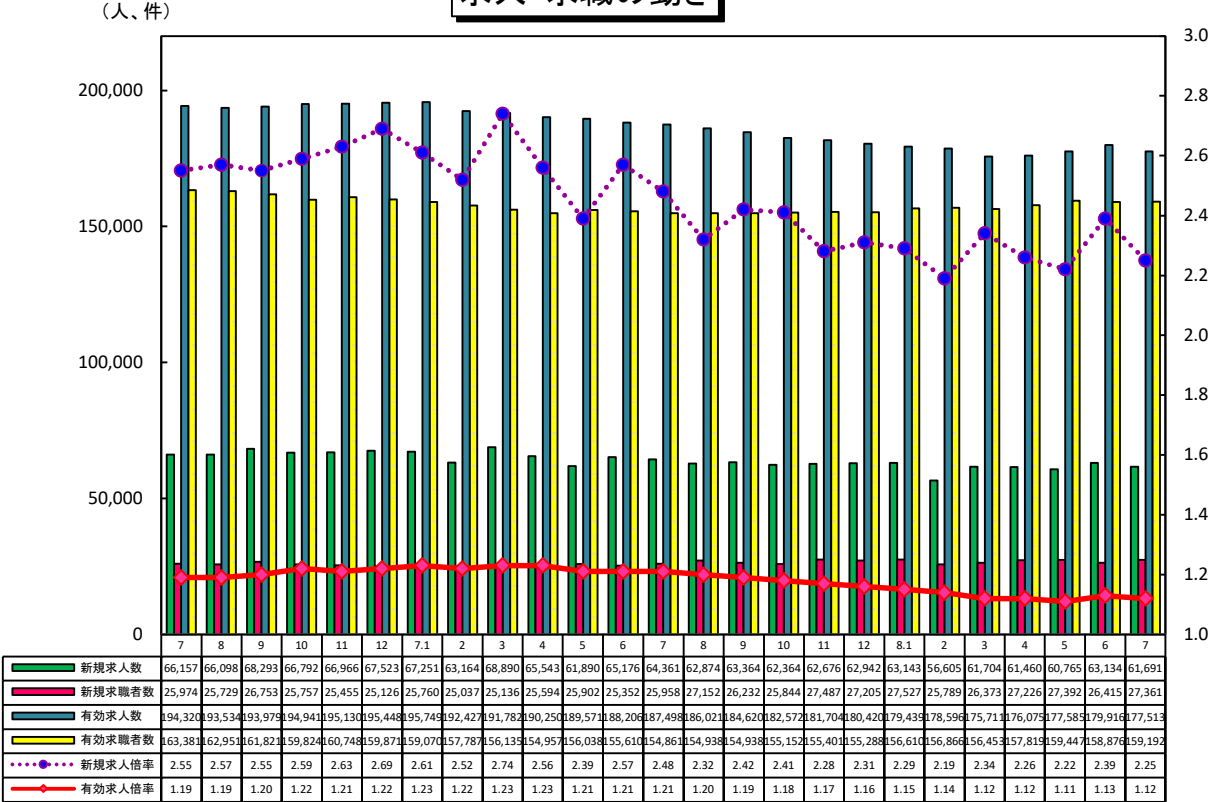
(求人倍率)

- 大阪府の令和8年7月の有効求人倍率(季節調整値)は1.12倍と、前月より0.01ポイント低下となった。
 - 新規求人倍率(季節調整値)は2.25倍となり、前月より0.14ポイント低下となった。
- ※就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は、0.95倍と、前月より0.01ポイント低下となった。

(求人・求職の動き)

- 新規求人数(季節調整値)は前月比2.3%減となり、有効求人数(同)は前月比1.3%減となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比3.6%増となり、有効求職者数(同)は前月比0.2%増となった。
- 新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると3.9%減となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比4.6%増)、製造業(同0.6%増)、情報通信業(同3.2%減)、運輸業、郵便業(同8.6%減)、卸売業、小売業(同6.5%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同4.3%減)、宿泊業、飲食サービス業(同14.0%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同2.9%増)、教育、学習支援業(同1.8%減)、医療、福祉(同2.1%増)、サービス業(他に分類されないもの)(同8.9%減)となった。

求人・求職の動き



(注)各月の数値は季節調整値。R8.2季節調整替。